



平成 28 年 1 月 28 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
株 式 会 社 S J I
代表取締役社長 牛 雨
(J A S D A Q : 2 3 1 5)
問合せ先：
取締役 矢沼 克則
TEL 03-5657-3000 (代表)

子会社に対する債権および債務のスキーム変更に伴う
為替差損益の計上見込みに関するお知らせ

当社は、子会社に対する債権および債務について、円建から米ドル建にスキームを変更することといたしました。これに伴い平成28年10月期第1四半期において為替差損益を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 子会社に対する債権および債務のスキーム変更について

当社の財政状態は、現在大幅に改善しており、営業利益においては平成 27 年 9 月に単月黒字に転換し、以降、安定的に推移しております。このような状況の中、当社から当社の連結子会社である SJ Asia Pacific Limited および恒星情報（香港）有限公司（以下、「両子会社」といいます。）に対する円建債権の換算により、四半期決算ごとに発生する為替差損益の発生を抑制し、さらなる財務の健全化を図ることが喫緊の課題であります。

当社はこれまで海外子会社の売却を進め、両子会社の事業会社も既に売却が完了しております。これにより、両子会社は中間持株会社としての機能を終えており、当社は両子会社を含む中間持株会社の整理に着手しております。

現在、当社から両子会社に対する貸付は、基本的に円建で、四半期決算の際に生じる為替差損益はすべて両子会社が負担または享受することになっておりますが、両子会社の事業会社の売却が完了した現在、当社と両子会社間の債権および債務の金額を確定し、中間持株会社である両子会社で為替差損益が発生しないように、円建から両子会社の報告通貨である米ドル建にスキームを変更いたします。

同時に、通貨建て変更の対象となる債権の一部の放棄を実施する予定です。

2. 業績に与える影響

為替レートの確定後あらためて開示いたしますが、平成28年10月期第1四半期において、為替差損益が計上される見込みであります。

なお、通期の連結業績予想は現時点では変更しておりません。業績の総合的な状況をふまえ、業績予想の修正が必要な場合は速やかに開示いたします。

以 上